

あおぞら

行方市 社協だより

No. 73 2024.6.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲478 番地1
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>

元気で～さ～びす館



行方市地域包括支援センター職員と
利用者の面談風景



遠足
(鹿島港内一周見学船「ユーリカ」)

もくじ

- 会長あいさつ…………… 2
- 子育てサポート のびのびサポート …… 6
- 令和6年度社協の事業計画 …… 3
- 行方市地域包括支援センター…………… 7
- 令和6年度社協の予算 …… 4
- 社協会員加入のお願い 能登半島義援金
善意銀行・つぶやき
- ボランティア連絡協議会役員移動研修
太田ひとり一品運動 …… 5
- 社協新規採用職員紹介…………… 8

会長 あいさつ



社会福祉法人行方市社会福祉協議会
会長 鈴木 周也

皆さまにおかれましては、日ごろより当協議会の運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

近年、地震や自然災害が頻発し、その影響は計り知れません。先日の能登地震や台湾地震では、多くの方々
が被災され、心よりお見舞い申し上げます。災害が引き起こす悲劇は、その被害にあわれた方々だけでなく、我々全ての人々に深い影響を与えます。そのため、私たちの地域でも、災害に備え、防災意識を高めることが急務です。地域の安全を確保し、被災者支援に全力を尽くすことが、私たちの責務であり、使命です。

さて、社会福祉協議会として、私たちの活動は単なる

災害対策だけにとどまりません。地域のすべての
方々が安心して生活できる社会の実現を目指して、さまざま
な取り組みを行っています。高齢者や障害者支援、子育て支援、
生活困窮者支援など、幅広い活動を展開していますが、その中
でも地域の結束と協力が不可欠です。災害時においても、地
域の絆が大きな支えとなります。私たちは、その絆を強化し、
地域の安全と福祉を守り抜く決意です。

さらに、地域の課題にも真摯に向き合い、持続可能な社会福祉
の実現に向けて努力してまいります。高齢化や少子化、地域の
孤立化といった課題に対して、地域全体で協力し合い、解決策
を模索してまいります。

最後になりますが、本年度が皆さまにとって安全で希望に満ちた
一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。地域の皆
さまと共に、困難を乗り越えてよい社会を築いていくために、
行方市社会福祉協議会として尽力してまいります。どうぞ引き
続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度行方市社会福祉協議会事業計画

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて住民の皆様や、行政、関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んで参ります。

地域福祉事業.....

地域福祉事業の推進

- ・ 給食サービス事業
- ・ 介護予防事業

(1)元気で〜さ〜びす館

(2)地域介護予防防事業への支援

- ・ コミュニティ活動の積極的支援

(1)生活支援体制整備事業

(2)小地域福祉活動モデル地区指定事業

(3)地域防災、防犯ネットワーク推進事業

(4)地域生活支援事業

(5)サロン活動立ち上げ支援

(6)備品貸出事業

障害者(児)福祉事業

のびのびサポート事業

視覚障害者用録音物配布事業

茨城県立鹿島特別支援学校PTA

行方支部の支援

障害者スポーツ振興事業

親子ふれあい事業

母子・父子福祉事業

ひとり親家庭事業

(1)新入学祝品贈呈

子育て支援事業

子育てサポート事業

ボランティア活動の推進

ボランティア活動センターの運営強化

ボランティア講座の実施

・ ボランティアグループの育成・援助

・ 福祉教育の推進

共同募金運動

歳末たすけあい運動

福祉関係団体の支援

法律相談事業

地域総合相談・生活支援事業

日常生活自立支援事業

成年後見制度利用促進事業(新規)

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金特別貸付債権管理事務

フォロアアップ支援事業

福祉機器等貸出事業

福祉車輻貸出事業

訪問歯科治療器具貸出事業

在宅言語リハビリアドバイザー事業

在宅福祉サービスセンター運営事業

広報誌「あおぞら」の発行

ホームページの管理運営

SNS等の活用

なめがたエリアテレビ等の活用

介護保険事業.....

居宅介護支援事業

訪問介護事業

地域包括支援センター

居宅介護

重度訪問介護

同行援護

行動援護

計画相談支援

移動支援事業

地域活動支援センター

福祉バスの管理運営事業

当事者団体支援事業.....

行方市ボランティア連絡協議会

行方市いきいきクラブ連合会

行方市身体障害者福祉協議会

行方市遺族会



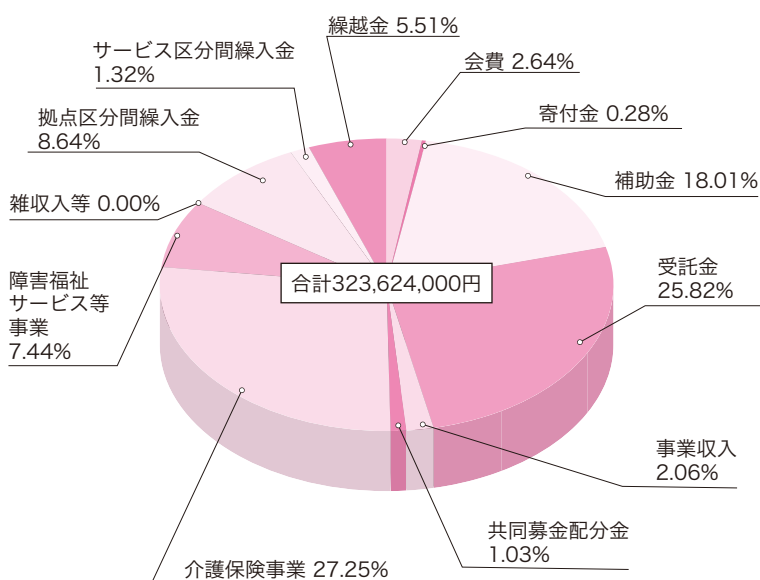
令和6年度 社会福祉法人 行方市社会福祉協議会予算

社会福祉協議会（社協）の財源は、地域の皆様や企業からの会費及び寄附金、共同募金配分金、行政等からの補助金・受託金、そして高齢者や障害者の方への福祉サービス等により編成されております。これらを原資として「誰もがみんな ふれ合い 支え合い 助け合うまち なめがた」を目指して様々な地域福祉活動を展開していきます。

予算総額 323,624,000円

収入

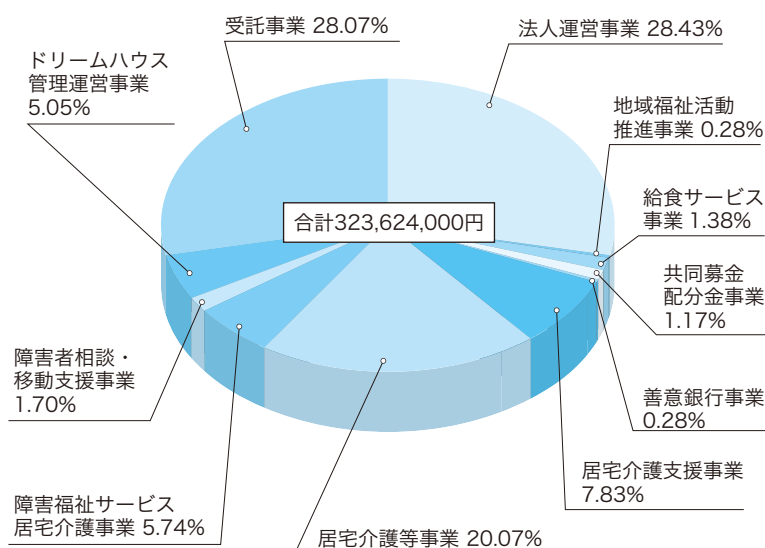
(単位：千円)



会費	8,530
寄附金	897
補助金	58,298
受託金	83,553
事業収入	6,661
共同募金配分金	3,345
介護保険事業	88,183
障害福祉サービス等事業	24,088
雑収入等	12
拠点区分間繰入金	27,947
サービス区分間繰入金	4,269
繰越金	17,841
合計	323,624

支出

(単位：千円)

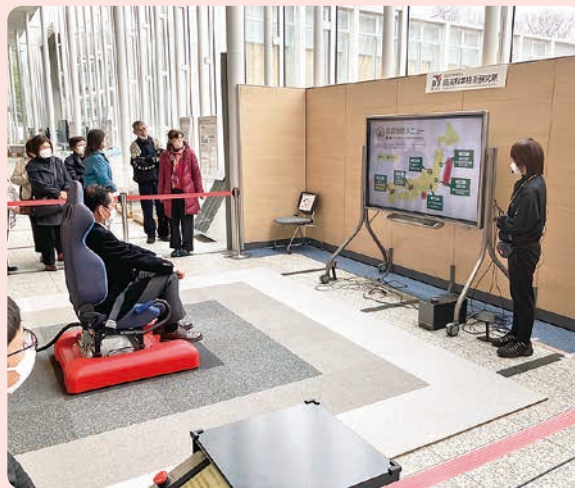


法人運営事業	92,001
地域福祉活動推進事業	896
給食サービス事業	4,460
共同募金配分金事業	3,784
善意銀行事業	898
居宅介護支援事業	25,339
居宅介護等事業	64,962
障害福祉サービス居宅介護事業	18,587
障害者相談・移動支援事業	5,504
ドリームハウス管理運営事業	16,343
受託事業	90,850
合計	323,624

行方市ボランティア連絡協議会

～役員移動研修をおこないました～

3月12日(火)、役員移動研修をつくば市にあります「防災科学技術研究所」と就労継続支援A型・B型事業所「定食くれしーた」にておこないました。「防災科学技術研究所」では、最新の災害対策技術や地域防災の取り組みについて学び、地域での災害リスクを正確に把握し、適切な対策を講じる重要性を再認識しました。「定食くれしーた」では、障がい者の方々が自立した生活を送るための支援について学び、地域の結びつきが不可欠であるとの認識を深めました。



旧太田小学校区ひとり一品運動を開催しました。

3月10日(日)旧太田小学校区第2層協議体(区長、区長代理、民生委員、フードバンクなめがた)が主催した「ひとり一品運動」が開催されました。地域の方々のご協力で多くの食品寄付(約322kg)を集めることができました。寄付された食品は、生活に困窮されている方々に配布させていただきます。ありがとうございました。

今後も社会福祉協議会は、市民・行政・関係各機関と協働して地域の福祉課題の解決に取り組む、地域福祉活動を推進してまいります。



「なめがたフードパントリー」を実施しました。

3月16日(土)行方市地域包括支援センターを会場に「なめがたフードパントリー」(食品配布)を実施しました。今回で3回目の開催となり、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰により経済的に支援が必要な、68世帯の方に食品等をお渡しすることができました。

また、今回配布した食品の一部は、有限会社山野様、旧太田小学校区の皆様、フードバンク茨城様・フードバンクなめがた様・その他多くの市民の皆様からご寄付いただいたものになります。ご協力いただき誠にありがとうございました。





子育てサポート事業



「子育ての援助を受けたい人」(利用会員)と「子育ての援助をしたい人」(協力会員)が会員となり、お互いに助け合って活動する事業です。

サポート内容

- 保育園・幼稚園など保育施設が開始前又は終了後、休日のときの預かり
- 保育施設や学童、習い事などへの送迎
- 保護者が病気の場合などの預かり
- その他、保護者のリフレッシュや自己啓発など、必要に応じて

利用会員

市内に居住又は勤務しており、生後6ヶ月から中学校就学前までのお子様を持つ方等

活動時間及び利用料

○平日	午前7時～午後7時	1時間当たり800円
	午後7時～午後9時	1時間当たり900円

○休業日 土曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始(12月29日～翌年1月3日)

※利用料金はお子様一人の金額です。兄弟姉妹で利用する際には、それぞれ利用料がかかります。

※お子様一人につき、1時間当たり400円の助成金を交付します。(月額上限：20,000円)

キャンセル料

- 当日の利用予定時刻1時間前までのキャンセル料はかかりません。
- 当日の利用予定時刻の1時間未満のキャンセルや、申し出がなく利用がなかった場合は、1時間分(800円)の利用料を頂きます。

☆このサービスを利用するにあたり、社会福祉協議会へ事前に申請、登録が必要となります。ご不明な点等ありましたら、ご連絡下さい。

☆利用会員・協力会員双方の調整がつかない場合は、ご利用ができない場合がございます。予めご了承ください。

☆子育てサポーター協力会員募集中☆

- ・保育士等資格をお持ちの方はすぐにサポーター(協力会員)になることができます。
 - ・資格をお持ちでない方でも、研修を受けていただくことでサポーターになることができます。
- ※協力会員向けの研修開催予定です!

のびのびサポート事業

◇夏休みの10日間、日替わりの体験など楽しく活動を行います。

◇一緒に夏の思い出作りをしませんか?

開催日

①7月24日(水) ②7月26日(金) ③7月30日(火) ④7月31日(水)
 ⑤8月5日(月) ⑥8月9日(金) ⑦8月21日(水) ⑧8月23日(金)
 ⑨8月27日(火) ⑩8月29日(木) ※利用したい日を選んでご利用ください。

時間 午前9時から午後4時まで

対象者 ○市内在住の特別支援学校に通う児童・生徒
○市内の特別支援学級を利用する児童・生徒

参加費 1日につき1,000円

申し込み締め切り日

●6月28日(金)●

1日につき定員10名(先着)

※参加希望の旨をご連絡ください。詳しい内容と申し込みに必要な書類をお送りいたします。

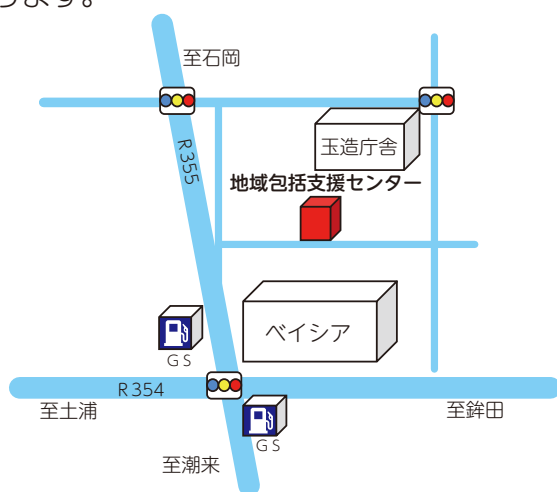
場所 行方市地域包括支援センター
〒311-3512
茨城県行方市玉造甲478-1

地域包括支援センター

みなさんの生活を支える相談窓口

地域包括支援センターは、行方市が設置主体となり、高齢者のみなさんが住み慣れたまちで安心して暮らしていくために必要な援助や支援をする地域の総合窓口です。社会福祉協議会では、市内全地域を委託されています。

主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師等が中心となって、市民のさまざまな相談や悩みを聞いたり介護予防や健康づくりを支援しながら、安心できる地域、暮らしやすい地域をつくります。



行方市地域包括支援センター
 行方市玉造甲478-1
 0299-55-0114

介護者のつどい		基準緩和型デイサービス			
みんなでお話しませんか？		「もりもり館」	「元気で～さ～びす館」		
参加対象者	介護をされている方 介護経験がある方など	65歳以上の事業対象者 要支援1・2			
開催場所	行方市地域包括支援センター	榎本スポーツ交流センター	行方市地域包括支援センター		天王崎観光交流センター コテラス
開催日	6月10日(月) 7月1日(月) 8月5日(月)	6月5日(水) 19日(水) 7月3日(水) 17日(水) 8月14日(水) 21日(水)	(玉造) 6月7日(金) 21日(金) 7月5日(金) 19日(金) 8月2日(金) 16日(金)	(北浦) 6月11日(火) 25日(火) 7月9日(火) 23日(火) 8月6日(火) 20日(火)	(麻生) 6月13日(木) 27日(木) 7月11日(木) 25日(木) 8月8日(木) 22日(木)
開催時間	13:30～15:00	11:00～14:00	10:30～15:00		
料金	無料	参加料700円(昼食・おやつ代) + 利用料(所得に応じて300円～900円)			
活動内容	介護をされている方介護経験がある方など自由に話していただく語らいの場を開催しています。どなたでも自由参加ですので、ぜひ参加してください！	リハビリテーション専門職による講話や運動指導ヨガ・太極拳など	午前：シルバーリハビリ体操 午後：脳トレや季節の制作・ゲームなどのレクリエーション・講話等 年に2回バスでの外出も予定しています。		
お問い合わせ	地域包括支援センター 0299-55-0114	行方市役所介護福祉課 高齢福祉G 0299-55-0111			

行方市善意銀行

令和6年2月1日から令和6年4月30日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金(順不同・敬称略)

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
幡谷暢	50,000	無指定
匿名	18,000	無指定
匿名	13,000	無指定

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
(有)山野	おもち	無指定
匿名	紙オムツ	無指定
匿名	オムツ等	老人福祉
匿名	うちわ	無指定

社協新規採用職員紹介

令和6年4月より、4名の職員を採用いたしました。



しづやき

若い頃教師をしていた義母は知識も豊富。特に趣味だった花に関しては何でも知っている人でした。そんな義母も80代後半に近づくにつれ、花の名前も忘れるようになり家族の見守りが必要に。先々の不安を感じるようになり介護認定を受けました。ケアマネさんに相談できるようになったことで気持ちが楽になったことを覚えています。

一周忌を前に、義母の遺したたくさんの水仙の花を見ながら、楽しい思い出ばかりが蘇るのもケアマネさんが不安な心に寄り添い話を聞いてくれたからだと思えます。

自宅介護は大変なこともあります。この先の自分の姿を義母に重ねています。一緒に暮らすことで人として一番大切な「歳をとるといふこと」を学ぶ期間だったと感じています。

この春から市内の地域包括支援センター全てが社協さんの下で一つになりました。介護への不安をお持ちの方は、是非こちらに電話することから始めてみることをお勧めします。

横田照実

社協会員加入のお願い

地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざした様々な活動を行っています。

皆さまから寄せられた会費は地域福祉事業を行ううえで大切な自主財源となっています。ぜひご協力をお願いいたします。

会員募集期間：6月3日～6月28日

一般会員：一口 1,000円

各世帯へお願いしています。

賛助会員：一口 3,000円

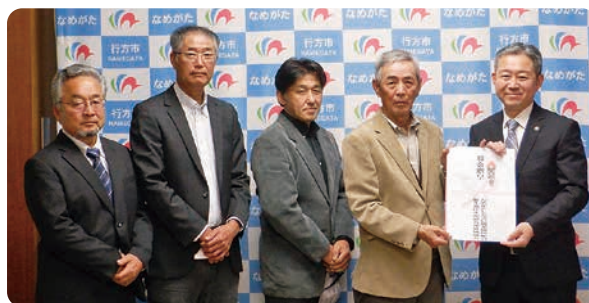


社会福祉協議会の活動にご賛同いただける方のご協力をお願いします。

【令和6年能登半島地震災害義援金募集】

令和6年1月に発生した能登地方を震源とする地震により、複数の市町村に災害救助法が適用されました。上記の災害により被災された方々を支援する為、義援金を募集しています。

また、行方市社会福祉協議会(麻生出張所含む)でも、募金箱を設置しております。



義援金募集締切：令和6年12月27日(金)

義援金預託者名	金額(円)
四つ葉会	3,000
茨城100kウルトラマソン実行委員会	3,260
なめがたしおさい農業協同組合 麻生地区生産部会連絡協議会	84,007

お預かりした義援金は中央共同募金会を通し、被災された方へ届けられます。

広報委員

委員長	理崎 道子	委員	磯山 正子
副委員長	松澤久美子		横田 照実
委員	金井 裕子		加藤たか子
	熊谷 一男		宮内 和子
	大原 孝		阿部 幸一

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報紙 あおぞら」や「市報 行方」をお届けしています。

希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。